

元気で長生きを

“生きがいづくり”をみんなで

敬老会各地区で盛大に

九月十五日は「敬老の日」。市内のお年寄りの皆さん長寿おめでとごさいます。

この「敬老の日」を祝い、市内各区分ではお年寄りに感謝をこめて敬老会が盛大に催され、一日中にぎわいました。

「敬老の日」から一週間は「老人福祉週間」です。これまで私たちの社会に貢献し、家庭を築いていただいたお年寄りに感謝し、労わる週間です。

私たちも今一度、お年寄りに対する理解と感謝を新たにしてい、仲良く住みよいまちづくりを考えてみましょう。

今後もお年寄りの人口は増えるのが予想され、十年後の六十七年には約六千人に達するとみられ、市人口の二〇%、七人に一人が

まだ元気、これからも長生きしてもらいたいものです。

このほど発表されました日本人の平均寿命をみてみますと、男七三・七九歳、女七九・一三歳とこれまで最高の記録し、まだまだ伸びる勢いです。病気による死亡者（たとえばガンなど）が克服されればやがて男女とも八十歳の大台になろうと予想されています。

市内のお年寄りの数を調べてみますと、六十歳以上は六千五百五十人、六十五歳以上のお年寄りは四千八百八人で、男子千八百六十四人、女子千九百四十四人となっており、この数は市の人口の十六%を占めています。

この四千八百八人の六十五歳以上のお年寄りのうち九十歳以上の方が七十五人います。内訳は男子十九人、女子五十六人で、このなかには百五歳の早水ツルさんも含まれています。早水さんは表紙のコーナーでも紹介したようにまだ

敬老の日プレゼント

		80歳～84歳	記念品(浴衣生地)
阿久根市	敬老年金	85歳～89歳	5,000円
		90歳～99歳	10,000円
		100歳以上	100,000円
		90歳	写真、お菓子
		90歳以上	老人福祉センターに招待して敬老会
県		90歳到達者	洋フトン
		91歳～99歳	肌フトン
		100歳到達者	薩摩焼の花びん
		100歳以上	のれん、杉入れ、小物

さて、いま働き盛りの三十歳代の私たちも三十年後には六十歳代に入り、お年寄りの仲間入りになります。それだけに高齢者の問題は、お年寄りだけの問題ではなく、やがてやってくる私たちの直面する課題でもあります。

九月十五日は「敬老の日」、この日は永年社会に尽くしていただいたお年寄りを敬愛し、長寿を祝う日です。市内の各区分では公民館や学校の運動場などで敬老会やお年寄りが参加しての運動会が行われ、一日中にぎわいました。

各種制度をさらに充実 お年寄りの住みよいまちに

しかし、一方ではこのような元気なお年寄りに対して、一人暮らしや、体が不自由なため寝たきりでさびしく暮らしているお年寄りの多いことを忘れてはならないと思います。阿久根市ではこれらの方々を含めて、お年寄りの皆さんが暮らしやすいように老人医療費の無料化、老人健康診査、ホームヘルパーの派遣、移動ベッドの貸与、各種年金の充実などキメの細かい福祉施策を行っています。まだまだ充分とはいえない面もあり今後とも改善に努めるつもりです。

私たちも「敬老の日」を機会にお年寄りを尊敬し、私たちの老後も考え、家族そろって健康で、明るく暮らしましょう。

県や阿久根市でも長寿を祝い、別表のような敬老年金や記念品が贈られました。

前にも述べたように平均寿命も年々伸び、元気なお年寄りの姿が目につきます。スポーツや趣味に楽しんでいく方も多くなり、ゲートボール大会や市の光穂大学などは大繁盛。老後の人生をスポーツや趣味を通して健康づくりを行い、長生きすることはお年寄りにとっても大切なことではないでしょうか。

秋の

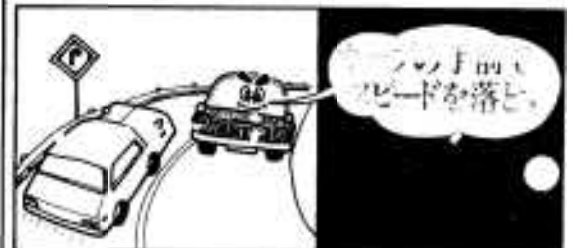
全国交通安全運動

9月21日～9月30日

交通安全は家庭から

安全はルールとマナーから

安全運転5則



《運動の重点》

- 1 歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止
- 2 二輪車の安全利用の徹底
- 3 安全運転の確保、特に無謀運転の防止

オートバイに乗るときは…

子供さんは……………



市・町交通災害共済に加入しましょう。家族全員のお守りに!!
 交通災害共済(1日1円掛)に加入していますか、
 共済期間が満了されている方も忘れないよう引き続き加入しましょう。

阿久根警察署, 阿久根市・東町・長島町交通安全対策会議
 阿久根交通安全協会, 阿久根安全運転管理協議会



よき老後は

よき

老後とは

なによりも健康が大切

老後ということになります。

まず、健康で、

暮らしに困らな

くて、生きがい

のある生活が送

れること——衣

食・住だけでな

く、プラス医、

それに生きがい

が保障された暮

らしこそ、よき

健康であることは、豊かで明る

い老後を送るための第一条件です。

疾病を予防し、健康を維持するた

めには、常々から自分の身体の状態

をよくは握り、健康保持に努め

なければなりません。

そのためには、医師による相談

や保健婦による在宅療養たり老人

の機能回復訓練等の訪問指導を行

う老人健康相談、老人疾病の予防

早期発見、早期治療を確保するた
めの老人健康診査等を大いに活用
していただきたいものです。

豊かな心で張り のある毎日を

お年寄りの多くは、今なお健康
で活動意欲を持つ人々であり、豊
富な経験と能力をもっています。

しかも、老年期は自由な時間に恵
まれています。したがって、こう

したお年寄りの経験、能力、活動

意欲等を有効に生かすことができ

れば、社会にとって非常に有益で
あるばかりでなく、お年寄りの生
きがいをも高めることになり、ひい
てはお年寄り自身の心身の健康や
円満な家庭の維持にも役立つこと
になります。

お年寄りのダイヤル相談

県では、お年寄りの健康問
題などの悩みについて電話に
よる相談を受けています。秘
密は厳守します。

電話番号0992-0005

0 (県看護研修会館内)へ

90歳以上 75人 まだまだ元気です

9月1日現在

- 百五歳 早水ツル(桜ヶ丘荘)
- 九十九歳 古富モト(古里)
- 九十八歳 鶴田ソヨ(木佐木野)
- 九十七歳 湯田シズ(尻無上)
- 九十六歳 加世堂曾乃(桜ヶ丘荘)
- 九十五歳 樋口諒一(蓮の実園)
- 矢房タケ(新町) 松林八太郎(杷
奥平キサ(中原敷)
- 九十四歳 山元チヨ(船園) 川畑
鶴松(同) 鶴之浦キク(桜ヶ丘荘)
- 八郷市郎(八郷) 早瀬キクマツ
(古里) 春成ミツ(脇馬場) 花木
フミ(的場) 中村矢右衛門(神仁
田) 花田イノ(同) 末古善蔵(遠
矢) 松水八兵衛(飛松)
- 九十三歳 古川チル(蓮の実園)
野口ケサ(同) 田口たみ(聖園)
- 新町ハルギク(桜ヶ丘荘) 村上表
古(松ヶ根) 中野長次郎(神仁田)
西園アイ(高之口) 本村善助(羽
田) 下園サヨキク(尻無上)
- 九十二歳 葉菜ワイ(浜) 花木ハ
ツキク(中村) 馬見新ヨ子(飛松)
- 川畑庄之進(川畑中) 浜之上ワイ
(大谷) 湖上戸平(黒之上) 中湯
平ワカ(蓮の実園)
- 九十一歳 飯塚イロ(聖園) 山下
次郎(鶴之西) 山下チヨマツ(同)
- 成尾ルイ(古里) 辻クメ(瀬之下)
- 浦島善蔵(脇本浜) 若松スエノ
(尻無上) 田中キクマツ(丸内)
- 餅越セン(弓水野) 田原スソノ
(米次) 出口徳吉(中村) 坂垣タ
ケ(上野) 小牟田アイノ(同) 坂
- 元徳二(浜)
- 九十歳 浜田フデ(新町) 村田エ
ノ(大丸) 大下スエキク(上野)
- 和田シモ(倉津) 川畑タカ(尾原)
- 知織ヨ子(田代下) 瀬戸ロクエ
(遠矢) 永井野マム(尾崎) 中村
ハルケサ(弓水野) 廣藤アキ(永
田上) 松林栄吉(杷) 岩崎キヨ
(本之牟礼) 松水ケサ(牛之浜)
- 牛之浜ユキ(同) 柏木清一郎(神
仁田) 坂口コノ(的場) 的場与四
郎(同) 川畑イセツル(川畑中)
- 鶴岡キク(尻無上) 野村キクノ
(黒之浜) 山平フクマツ(小蓮)
- 中村タメノ(桜ヶ丘荘) 原崎ハツ
(同) 平ハツキク(同) 横山シマ
(蓮の実園)

拡張急ピッチで進む

上水道水圧と水不足解消へ 四次拡張

給水区域内の水圧不足の解消と、配水管の改良、整備を含む、阿久根市の上水道第四次拡張事業は、昭和五十五年度から五十七年度までの三カ年事業でスタートしましたが、これまでに事業の大半を終り、残る工事が急ピッチで進んでいます。

総事業費約七億三千万円をつぎ、こんだこの拡張事業は、昭和五十五年年度には園田地区に水源池を、赤瀬川に配水地を設置し、一日の給水能力のアップを図るとともに、大林、多田地区への送水を開始し

て給水区域の拡大と水道の普及に努めてきました。

五十六年度には、牧内・桑原城線、上野・大尾ヶ岡線、赤瀬川本線などの配水管の布設と大曲配水池の増設工事が完成、これにより市街地、赤瀬川、山下、西目地区

の増圧を図り、水不足を解消しました。

今年はずでに赤瀬川本線の残り、白木川線、牧内・桑原城線の布設が残り、現在、市道段・寺山線、市道丸尾線などが工事中で近々完成の見込みです。

上水道第四次拡張事業は、着工以来三年ですべてを終り、水道の普及と今後の水需要に充分対応できることとなります。

キウイ予冷库桐野に設置

販路拡大と価格の安定に期待



基礎工事が始まり建設が進む

キウイフルーツの産地化を目指し、阿久根市。その栽培の中心地、本桐野にキウイを保存する予冷库の建設が進んでいます。

予冷库は三笠町農協が設置するもので総事業費八千五百万円、鉄骨スレートぶきの八百平方メートル、蔵能力は二百四十。

桐野の迫に八月から建設が始まっており完成は十月の予定です。

昭和五十二年導入されたキウイはイチゴとメロンをミックスしたような「まるやかな味」を持つ最近人気が出た果物で、桐野地区を中心に五十六戸の農家が十六に栽培し、出荷量も年々増加、今年の秋の収穫量は約四十が見込まれています。このキウイ、収穫したら二十四時間以内に冷凍庫に保存しないと品質が低下し、商品価値がなくなるなどデリケートな果

物で、これまで専用の予冷库がなく、農家は、農協の冷蔵庫を使用して生産を続けてきました。

予冷库は、費用に応じて出荷ができる、価格の安定と、品質の向上が図られる、などの利点があり、キウイの本場を目指す本市にとって予冷库の建設は栽培面積の拡大を含め、大いに期待が持たれます。

**たばこは
市内のお店で
買いましょ**

八千万円が市に納付

昭和五十六年度たばこ消費税として阿久根市に納付された金額は八千八百九十九万七千円、市の貴重な財源の一つになっています。

誕生



おめでと

出生児	保護者	区名
若松 祥子	茂樹	尻無上
大尾由美子	論	大尾
神川 礼	勲	折口東
八郷 智美	英雄	濁
平新 直子	篤美	段
山口 典子	幸春	田代下
福岡ひかり	幸一	上野
猿楽 大輔	正行	濁
竹原 愛	七男	宮原
畑中 裕毅	正男	横手
倉津あゆみ	福吉	倉津
大重 裕子	弘靖	波留
洲崎ルミ子	未治	倉津
倉津るみ子	清俊	新町
村田 陽子	秀博	濁
宮田 真美	博美	波留
下園亜紀子	道広	尻無下
大田 増美	修	尻無下
園田 友美	正光	波留
迫田 誠	悟	筒田
伊 裕里奈	秀雄	脇馬場
八郷 裕大	秀二	上原
馬見新健介	誠	寺山
花木ゆかり	勝則	波留
川畑 晴平	修	新町
福岡 恵美	富士雄	大丸
中野 勇	敏	佐瀬
新伊奈央子	真一	高之口

四百万円を融資

農業後継者対策資金

農業後継者対策資金は、将来の継いだ農業後継者を育成し、確保するために後継者が富農改善や生活改善、また、研修教育などに必要な資金を長期間にわたり、無利子で融資するものです。このほど貸付資金が充実され最高四百万円まで借りられるようになりました。

要な支度金、結婚金、結婚式に要する経費など。

詳しくは市の農政課、又は近くの農協へおたずねください。

貸付条件

- 利率 無利子
- 償還 十年間(据置二年以内)
- 貸付限度額 四百万円

融資対象者

市が農業後継者と認める、おおむね三十歳未満の者で、現に主として農業に従事している者(ただし生活改善、結婚に要する資金については、すでに農業経営主となっているおおむね三十歳未満の者も含む)

融資対象

(ア)富農改善に必要な資金(家畜導入費、生産資材費、機械器具購入費、種苗費、施設整備費)

(イ)生活改善に必要な資金(炊事場、食卓、浴室、便所などの改善及び器具購入費と新築、増築、改装に要する経費)

(ウ)研修教育に必要な資金(国内の先進地区又は海外の視察に必要な経費で、旅費、滞在費、支度金など)

(エ)結婚に必要な資金(結婚に必



農業制度資金の活用で農業経営の安定を

氷不足の解消に

一千トンの貯氷工場を建設 阿久根市漁協

阿久根市漁協で、貯氷能力一千トンを増やすため、貯氷工場が建設中で、二月の完成を目指し工事が進んでいます。

阿久根市漁協は、現在製氷能力一日百トンを有していますが、イワシやサバ、アジなどの水揚げの盛況期には氷の使用が伸びて製氷が追いつきません。

同漁協は、現在製氷能力一日百トンを有していますが、イワシやサバ、アジなどの水揚げの盛況期には氷の使用が伸びて製氷が追いつきません。

同漁協は、現在製氷能力一日百トンを有していますが、イワシやサバ、アジなどの水揚げの盛況期には氷の使用が伸びて製氷が追いつきません。

農業者年金メモ

経営移譲を受けた人も年金に加入を

年金は、お年寄りを若い人が支えるといいたいわば「おみこし」みたいなものですが、若い人もいずれお年寄りになり次の世代の若い人に支えてもらわなければなりません。年金はこういうことから世代と世代の助け合いの制度であるといえます。

農業者年金は若いうちに加入するほど有利

経営移譲年金の受給者から経営を引き継いだ新しい経営主(五十以上)は、国民年金に加入している限り、農業者年金の当然加入者として必ず加入しなければならぬといえます。

例えば、四十歳で加入した人と三十歳で加入した人の納めた保険料と年金額を比べてみますと表のようになります。

このように、三十歳の人は保険料で六十六万円多く納めますが、一方受給する年金額は三百六十五万円多く保険料の差額に比べてはるかに多くなっています。

このように農業者年金は早く加入するほど有利になる仕組みとなっています。

農業者年金比較表

	保険料総額	年金総額
30歳加入の人	223万1040円	1,054万6000円
40歳加入の人	156万9600円	729万7000円
	差66万1440円	差364万9000円



横山君(鶴中)に市長賞

「社会福祉に思う」で弁論

— 少年少女弁論大会 —

市制施行三十周年記念事業「少年少女弁論大会」は、八月二十三日市民会館ホールで行われ、小中学校の代表者が、阿久根市の発展、策や夢、自分たちの身近な環境の問題などに力強く弁論を述べた。

弁論大会には市内の小中学校六年生十人と、中学生六人が参加し、「小さな親切」「読書について」「老人福祉を考へる」「自然を生かした郷土づくり」などのテーマを掲げ、持ち時間五分をフルに生かし、感じたこと、希望、体験をもとに堂々と元気よく弁論しました。

会場のホールには小中学生や父兄など四百人が詰めかけ、一人ひとりの弁論に熱心に聞き入っていました。

審査の結果、鶴川内中学校の横山政文君の「社会福祉に思う」が市長賞に選ばれました。

横山君は、八月五日の新聞記事から、福岡県で発生した、お生寄りから小中学生が年金を貰し取る事件を取り上げ「世の中には一



力強い訴えの「少年少女弁論大会」

人暮らしや寝たきりで寂しく暮らしているお年寄りや身体障害者が多い、これらの方々が人間らしく生きるために私たちは人間が人間として愛する心を持つこと、年金や施設の改善をすること、そして

私たちが中学生も声かけ運動や思いやりの心でお年寄りに接しよう」と力強く訴えました。

議長賞には阿久根小学校の檀田洋美さんの「腰をかためよう。そしてひとつのちりを拾おう。」が、

教育長賞には田代小学校の小幡純一君の「ふるさと美化はわれわれの手で」が選ばれました。

拠出, 福祉年金とも引上げ 8月(拠出), 9月(福祉)分から

拠出年金 年金額の引上げ(昭和57年8月から)

種 別	現 行		改 正 後		
	年金額	月 額	年金額	月 額	
老 齢 年 金	25年 年 金	543,300 ^円	45,275 ^円	565,500 ^円	47,125 ^円
	10年 "	343,500	28,625	357,500	29,792
	5年 "	292,400	24,367	304,300	25,358
障 害 年 金	1 級	675,900	56,325	703,500	58,625
	2 級	540,700	45,058	562,800	46,900
母 子 ・ 準 母 子 年 金		540,700	45,058	562,800	46,900
遺 児 年 金		540,700	45,058	562,800	46,900

福祉年金 年金額の引上げ(昭和57年9月から)

種 別	現 行		改 正 後		
	年金額	月 額	年金額	月 額	
老 齢 福 祉 年 金		288,000 ^円	24,000 ^円	301,200 ^円	25,100 ^円
		※276,000	23,000	279,600	23,300
障 害 福 祉 年 金	1 級	432,000	36,000	452,400	37,700
	2 級	288,000	24,000	301,200	25,100
母 子 ・ 準 母 子 福 祉 年 金		374,400	31,200	392,400	32,700

※老齢福祉年金は、扶養義務者の収入が600万円(6人世帯)以上の場合は月額23,300円

国民年金法の一部が改正され、年金の給付額が引上げられます。

引上げは、最近の消費物価の上昇に合わせて年金の改正を行ったもので、拠出年金は8月分から、福祉年金は9月分から引上げられることになりました。引上げ額は別表のとおりです。

市民運動会

○とき 57年10月10日(日)
(体育の日)

○ところ 市総合グラウンド

校区対抗のリレー、お手玉入れ、スポーツ少年団の模範演技、

幼稚園、婦人会のマッスゲームなど幼児からお年寄りまで参加する市民みんなの運動会です。

秋の一日、家族そろって観覧ください。



「少年の船」に参加して

阿久根中三年 奥平浩之

阿久根市制三十周年記念事業として、「少年の船」に派遣が決まった時は、まさかと思っただけに夢がとうとうあった程だった。

出発までに二ヶ月間、バスボートをはじめ海外渡航の手続きや打ち合わせで多忙だった。

七月二十三日、天候快晴、ぬけるような青空に心をはずませ

て東京晴海埠頭に降り立つと、目の前に、巨大な船体が迫った。「日本丸だ。」同班の全国の友達、誰いとうなくさわつきた。ふ頭一杯に横付けされた一万三千トンの勇姿に誰もが、不安を解消しようだった。

二時間にわたる点呼や班編成等、きちんとした中で進行される結団式を終え、腕章を渡された時、初

四百五十名余りの全国からの団員のほとんどがデッキや船窓から、見送りの家族や先生達が嬉しに見え、るまで別れをおしんでいた。

僕も三階のデッキから川原君をはじめ阿久根の友達八名で、岸壁の桐野先生や母に手もちぎればかりにハンカチを振った。

心の中で、「元気で使命をりっばに果たして来ます。」と何度も

リフはじめ、マイクロビーチで海水浴訓練等を楽しんだが、途中の道路脇のがけになっている所は戦争中の砲弾がぶさまに崩されているのが痛ましかった。

二十八日七時にグアムに着き、イバオビーチで、次の日はUS Oビーチで海洋性スポーツの訓練を受けたが、台風の影響でカヌー、カッターはできなかったが、ヨットはできなかった。

食事では、日本米とちがってポロポロのご飯にまいったが、気候の違いかなと感じた。

最終日、スペイン広場、恋人岬というふうにな所見学、ショッピングがあったが、初めての外国の風情にふれ感激のくり返りだった。

めて、「これで本当に海外へ行けるんだ。」という確信と「よし、やるぞ。」というあらたな決意がわいてきた。

一日目の船上では、「団長講話」、「マナー」、「集いの練習」と日程はギツシリだったが、何とかやり通し、夕食のウエルカム・パーティーにありつき、船尾のオープンデッキでのみんなとの語らいに参加できた。

品物の高い事で、色々買いそびれて目立ったおみやげもなかったのは苦笑させられた。

帰国の長時間飛行も初めてだったが、雨降る東京に着いた時は「やっと終わったか。」という落ち着きと同時に、派遣の主旨にそった自分達の努力であったのかと反省、市や親への報恩と経緯を生かす努力を誓う事だった。(写真は阿久根市から派遣された八人、左から三人目が奥平君)

「ボー、ボー」一種独特の汽笛を鳴らし、蜃の光を流しながら、日本丸は大きな船体を方向変換し、エンジンの調子も高くなり船出した。

次の日から三日間、六時四十分の朝の集い、朝食後の「英会話」「海と船」「ロープワーク」「レクリエーション」「手旗」というふうに夕方まで研修が続いたががんばった。

東京を出て五日目の朝、目指すサイパンに着いたが、パンゼイク

「ご冥福を お祈りします」

- 小牟田ナオ 71 (新町) 貞雄
- 中野喜平次 83 (仲仁田) 俊子
- 築地 朝美 56 (新町) イシ
- 浜之上ヒロ 84 (新町) 北国強
- 庵 ツヨ 85 (内田) 友治
- 寺脇 春菊 89 (内田) 功男
- 牛之浜市太郎 79 (牛之浜) ミツヨ
- 橋口 健児 77 (波留) 静枝
- 中村金次郎 85 (的場) キク
- 奥平 十吉 78 (浜) 須麻
- 遠矢 キサ 70 (遠見岡) 貞藏
- 花田三四郎 61 (仲仁田) トエ
- 西園カメマツ 87 (折口) 武幸
- 花木 繁記 71 (的場) キヨマツ
- 下石 ハル 87 (黒之上) 卯之助
- 梶尾マツノ 66 (黒之浜) ナミエ
- 松崎 イ子 73 (大洲川) 正雄
- 瀬野浦スミ 80 (古里) 博人



秋の交通安全運動

9月21日から30日まで市民みんなが進んでこの運動に参加し、悲惨な交通事故なくしましょう。

自主性を持った子どもたちの育成を

大人がかまいすぎか……

青少年問題 協議会 活発な意見要望

青少年問題協議会の今年一回目の会議が八月二十日、市民会館で開かれ、青少年育成の現状や問題点、これら方策について委員から活発な意見が出ました。

この協議会は、青少年が健康でたくましく、非行など走らず育っていくためにどのような対策を立てたら良いか、市内の各機関、団体の代表者が集まり、それぞれ団体の方策を出し、お互い協力と理解をしながら青少年の健全な育成を進めていこう——という主旨で、

委員には市長をはじめ議長、警察署、婦人会、学校代表者などをお願いしてあります。

この日の会議には委員十八人が出席し、任命状が交付されたあと川畑市長を議長に運び会議を行いました。

まず、各団体から青少年の育成をどのように進めているかという点について、子ども育成会からは「夏は球技大会、冬は早朝マラソンなど年間計画を立て、子どもたちが非行に走らないよう主体性の

ある子ども会づくりに努めている」、青年団では「子ども会をリードしていくのはやはり中高生なので、青年団活動の中に中高生生の参加をお願いし、リーダーとしての心構えを植えつけてもらう」、婦人会は「一人の子ども我が子と同じ立場から、きびしい、やさしさを持った青少年を育てる」など現状と問題点が報告されました。

協議会では、最後に今後の進め方について協議しましたが、委員の中から「最近の子どもの様子を

見ていると大人がしほりすぎはないか、危険な所での海水浴はダメとか、大人が子ども会の行事を立てている。もっと子どもたちに親しみ、野山に離れてたくましい子どもの育成を考えるべきだ」「お年寄り子どもによるふれ合い事業をどしどし活用し、伝統の継承や、花いっぱい運動などによる肉体的な育成も大事だ」「青少年育成の日をもっとPRして市民一体となった取組がほしい」など活発な意見や要望が出され、協議会ではこの意見、要望を各関係方面に連絡し、青少年の非行防止と健全育成について協力をお願いすることになっています。

五十八年歌会始め

お題は「鳥」

昭和五十八年歌会のお題は、「鳥」と決まり、宮内庁では詠進歌の詠進を呼びかけています。

詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限り、習字用半紙（白色）に毛筆で自書してください。（盲人の方は点字でも差し支えありません。）

書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがな）、生年月日、職業（現在無職の場合は元の職業）を書いてください。

詠進の期間は、九月一日から十月十二日（当日消印有効）までとなっていますので、希望者は封筒に「詠進歌」と書いて「〒100東京都千代田区千代田一番一宮内庁」まで郵送してください。

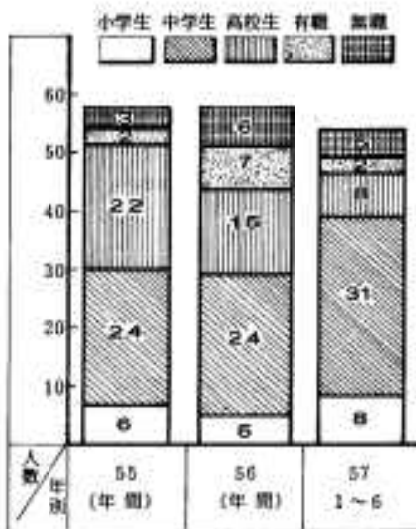
五十七人を補導

一月から六月の

少年非行

阿久根警察署では、この一月から六月までの半年間管内で発生した少年非行の概要を発表しました。それによると、刑法犯などの罪をおかし検挙補導された青少年の数は五十四人で、この数は昨年一年間の人數五十七人と三人と

表 少年非行の学職別内訳



迫る補導で一気に増加の傾向を示しています。学職別では(図表を参考)五十四人中、中学生が三十

一人で全体の五一%を占めています。また、小学生、中学生とも昨年

一年間の非行件数を超えています。非行の種類では窃盗が多く四十八人で八九%。このうち五〇%は万引きです。とくに女子による非行の増加が目立ちます。

不良行為による補導少年は百五十六人で、これは昨年の同期に比べて若干減少しています。不良行為で多いのが夜遊び、喫煙、不良交友で高校生が六十四人で全体の四一%を占めています。

これからも家庭、地域が一体となって青少年の非行防止に努めましょう。

考えよう みんなでなくそうムダなゴミ

「環境衛生週間」

9月21日〜27日まで
快適な生活環境づくりのため、ゴミ処理の問題について認識を高めましょう。

健康料理

イリコとレーズンの佃煮

材料(四人分)

- イリコ 一〇〇g
- レーズン 四〇g
- ピーナッツ 三〇g
- 白ごま 大きじ2
- サラダ油 # 1
- 砂糖 # 2
- 水あん # 1
- みりん # 1
- 濃口しょうゆ # 1.5

こがさないようにパリッといためる。
 (3)レーズン、ピーナッツはあらかじめじん切りとする。鍋に調味料を合

交通遺児等貸付の案内

この貸付制度は、自動車事故により保護者が亡くなった子どもや、保護者が重度の後遺障害となった子どもがすこやかに成長するため、に必要な資金をお貸しするもので、貸付けは、子どもに対して行い

わせ煮たさせ、海が小さくなったところで、イリコ、レーズン、ピーナッツを入れて最後に白ごまを入れてできあがり。

○貸付金額
はじめに一時金として十二万三千元、期間中毎月一万三千元、小中学校入学時に支度金として三万

○貸付金種
はじめて一時金として十二万三千元、期間中毎月一万三千元、小中学校入学時に支度金として三万

短歌

阿久根短歌会

工事場の腐材焼きし木灰を茄子の肥料にもらひて帰る

松本 光志

雨に光る落葉ふみしめ登りゆく神殿の石段苔むす上を

時任のり子

更年期の苦痛つぶやき暁の牛乳配達に妻は出でゆく

篠瀬 紀夫

ひたすらにただひたすらに暮し来て幾何もなき老後を思ふ

橋崎 サチ

擦れらがふ貨車の名札は懐しき吾が生れ里高萩とある

勝目 悦子

折田 憲司 選

東京都国立市にお住いの砂畑瞳子さんより、ふるさとを慕う短歌をいただきました。ありがとうございます。

ふるさとの海遠けれど潮騒はわが胸裡に鳴りやまぬかも

砂畑 瞳子



阿久根の民話 ⑧



「馬見塚の切開(きあき)どんと山伏」

今から約二百年も昔のことで、西目の馬見塚に後藤万太郎という郷士が、年貢の取り立てなどの役目で移住してきました。

後藤は貧乏であったために土地の開墾を許され、百姓たちを集めて馬見塚の入口の山野を開墾しました。これが今日「焼山」と呼ばれる土地だといわれます。

後藤は、稲作指導や農地拡張に努力して百姓の生産意欲を高め、百姓たちも生活が楽になってきたので、後藤に感謝して「馬見塚を愛して切り開き、村人の暮らしを豊かにした人」という意味で「切開どん」と呼ばれるようになりました。

ある年の秋のことです。村中

の秋の寒のりを見回っていた切開どんは、焼山の頂上に立ち松峰峰を見るとき、炬方向から越えて来る一人の山伏の姿を見つけた。一方、峠を越して下り始めようとしていた山伏は、馬見塚部落に悪疫が発生することを直感して急に立ち止まりました。そして道路脇の大きな松の木の根元に立ち、「ホー・ホー・ホー」とホラ貝を三声吹き鳴らし、鋤丈(しゃくしように)を振って呪文を唱え始めました。

ホラ貝の音は、二声は吉相、三声は災厄や悪疫発生の前と云われ、この不吉なホラ貝の三声を聞いて腹が立った切開どんは、もっていた自慢の強弓で山伏めがけて矢を放ちました。矢は大きな音を立てて松の幹に突き刺さったので、山伏は驚きの余りショックで死んでしまいました。

そして、翌年の夏には、山伏の直感どおり馬見塚地区に悪疫が流行し、多数の死者が出たのでした。切開どんと山伏の出会いが遠く隔り、お互いの意志が通じなかったために起きた悲劇だったといえます。





元気にプレー 腰伸ばす

地区老連スポーツ大会

お年寄りの夏のスポーツ。校区老人クラブスポーツ大会は、八月から九月初めにかけて市内各校区内で盛大に行われ、区内のお年寄



競技を楽しむお年寄

りが大せい参加して、「スプーリレー」「ボーリング」などの種目に元気一ぱい頭張り、健康つくと若返りを図りました。

九十人が参加

夜間歩け大会

阿久根校区体協

阿久根校区体育協会は今年発足十周年を迎えましたが、これを記念して、八月七日夜間歩こう会を

市民のひろば

すこやかちゃん



岩崎光祐ちゃん 1歳7ヵ月
市内湯 岩崎一雄さんの次男

高松老人クラブ優勝

交通安全 ゲートボール大会

第三回阿久根市交通安全ゲートボール大会は八月十八日、市民会館前広場に、市内の老人クラブから十二ヶが参加して行われ、高松老人クラブが優勝しました。



「左右を見て、」
交通安全ゲートボール大会

交通安全ゲートボールは、交通ルールを学びながらゲートボールを楽しむというもので、ルールを簡単に説明しますと、コートは広さや時間などは普通のゲートボールと変わりませんが、コートの中を通行止や安全地帯、横断歩道な

どの標示を設け、ゲームをしながらこれらの標示のルールに従って進んでいくもので違反したら減点され、勝ち負けは総合点数で決めるものです。

この交通安全ゲートボールも最

うさぎも可愛がってね

大島に放す

阿久根大島に八月二十四日、うさぎ十匹が放され海水浴客の人氣を集めました。うさぎは、めくみ

幼稚園で飼育されていた生後一年もの。

大島をシカとうさぎの島にし新しい観光の目玉に——と商工観光課が試験的に放したもので、今後の成育に期待しています。



大島に放されたうさぎ

加して行われ、ソフトボールは新町が、バレーボールは内田が優勝しました。成績は次のとおりです。
▽ソフトボール 優勝新町 二位黒之浜、三位大丸、大尾
▽バレーボール 優勝内田 二位高之口、三位集人、桑原城上

新町(ソフト) 優勝 内田(バレー)

市子ども会球技大会

市子ども会球技大会は、八月十二日市総合グラウンドと勤労者体育センターに、ソフトボール、バレーボールとも十三ヶつつが参

消防ミニニュース

(一) は一月から八月
8月の火災発生数 2 (四)
救急車出勤回数 64 (四)

近人氣が出てき、お年寄りの交通事故防止に役買っています。
二位以下は次のとおりです。
二位水田下、三位瀬之浦下、牛之浜。

実施、家族連れやお年寄りなど九十人が参加しました。

コースは阿久根小学校から田代県道を通り、大曲の農道、NHK、MBCの中継所前を経て阿久根小に帰る約四・。午後七時二十分阿小を出発、市街地の夜景や星空をながめ親子は語りながら一時間の歩け歩けに汗を流しました。

大川が優勝

軟式野球盆大会

軟式野球盆大会は八月十四日、市総合グラウンドを中心に行われ十二人が参加。大川が優勝、二位麻木、三位浜、西目でした。



尾崎末吉氏死去

市内尾崎出身で、神奈川県藤沢市にお住いの尾崎末吉氏が、八月二十三日病氣のため亡くなられました。八十八歳でした。尾崎氏は

明治二十七年尾崎に生れ苦学して京都中学、日本大学を卒業。会社の社長など歴任されました。昭和二十二年衆議院議員初当選

以来四期連続当選。この間衆議院予算委員長など務められ、国政で活躍されました。

また、本市の発展のためにも多大のご協力ご支援をいただきました。ここにご冥福をお祈りいたします。

「ハナ、ハト、マメ」 47年ぶり授業を再現

阿小昭和10年卒業生



「ハナ、ハト、マメ」と昔の授業を楽しむ

阿久根小学校で八月十六日、今年六十歳を迎えた卒業生が、四十七年ぶりに昔の授業を再現、当時をしのび、思いを小学校時代には

せていました。

授業を再現したのは、昭和十年に同校を卒業、今年六十の還暦を迎えた、市内の野田哲三郎さんや長谷義春さん、磯見春信さん、河南ミキさん、的場和江さんらで「最後の同窓会と還暦祝いの記念」と計画を立て、全国の同窓生に呼びかけたところ、恩師四人を含め、東京や大阪、県内各地から四十四人が集まりました。

授業は今の六年四組の教室を貸って行われ、まず、教育勅語が読まれたあと授業の始まり、昔使った一年生用の国語読本をコピーして国語の勉強。「ハナ、ハト、マメ」からムムカシ、ムカシ、オジイサント、オバアサンガイマシタ……の桃太郎の物語まで元気に読んで昔を再現、音楽の勉強では広瀬中佐の歌などを全員で歌って、なごやかな内に授業を終りました。



母と子スポーツで絆

母子、嘉婦体育祭

母子、嘉婦体育祭は八月二十一日市民体育館に九十人が参加して行われ、「ボーリング」「血圧測定」「ジャンケンゲーム」など十三の種目に一日楽しみ、母と子の絆を強めました。

阿久根大島二百万人目は 栗野町の川越さん



阿久根大島で八月八日、来島二百万人が達成され、沖縄旅行などがプレゼントされました。

この二百万人目の好運を射止めたのは、栗野町に住む会社員の川越昭仁さん三三で、川越さんは奥さんの香代子さんと子どもの祐一郎君、それに友だち三人と朝栗野

を出発、大島で海水浴に楽しもうと阿久根に来ていたものです。阿久根大島で新柳助役から沖縄の旅行券と薩摩焼の花びんが贈られ二百万人達成を祝いました。

阿久根大島は昭和二十七年からオープン、野生シカの住む海水浴場として県内外に広く知られています。

行事催し物など
とこととお寄せ下さい

お知らせ



国民年金

誕生月には
現況届の提出を

国民年金の老齢年金、通算老齢年金の受給者は、引き続き年金を受け取る資格があるか確認するため年一回、誕生月の末日までに「国民年金受給権者現況届」を提出することになっていきます。

現況届の用紙は、誕生月の初めに直接本人に送られてきますので市で証明を受けて、社会保険庁あて送付してください。(住所は現況届に印刷されています。)

電気製品、衣料、食料品などの消費者苦情相談の案内

市の商工観光課では、食品、電気製品、ガス器具、衣料品などの商品に関する苦情相談を受けています。ご利用ください。

求職中の方
新しい技能で就職を

職業転換訓練生を募集

○訓練対象者

就職を希望されている中高年齢者(四十五歳以上)。母子家庭の母など及び就職が困難な求職者で、職業安定所に求職手続き中の方。

○手続き 公共職業安定所か県立職業訓練校へ申し込んでください。

○訓練の内容 板金、塗装、溶接、建築、洋服、電気工事などです。

詳しくは県の職業訓練校☎992☎0105へ。

行政相談の案内

10月21日市民会館
十月十七日から二十三日までは「行政相談週間」です。

洗たく機は湿気がきらい

九電からのお知らせ

風呂場はいつも湿気が多いので洗たく機の各部分はいちみちやすく、モーターの絶縁も悪くなりながら、漏電しやすくなります。

洗たく機は風呂場の洗い場など湿気の多いところには置かないようにしましょう。やむをえず風呂場の洗い場におくときは、プラス

チックのような絶縁体の台の上のせ、漏電しやす器とアースを必ずつけてください。

風呂場の洗い場などで電気洗たく機を使うときは、漏電しやす器の取付けが感電事故防止のため法令で義務づけられています。

結核予防週間

9月24日～30日

患者数7万、死者1年間で6千から結核の数字が、この数字で

結核患者の増加にまなまな、結核の予防対策を進めたい。9月23日から1週間「結核予防週間」を設けて、

阿久根市でもこの期間に行政相談を次のとおり実施します。

行政に関する苦情、意見などありましたらどしどし相談ください。

△期 日 十月二十一日

△ところ 市民会館七・八会議室

毎月第二水曜日は

交通事故相談日

市民相談室

編集後記

朝夕めっきりと涼しくなつて、いよいよ秋の訪れです。長かった夏休みも終り、真黒に日焼けした子どもたちの元気な歓声が学校にもどってきました。

秋はスポーツによし、読書によし、また、食欲の秋でもあります。秋の一日家族そろってピクニックと出かけ、健康づくりに汗を流してはいかがでしょう。

ここで訂正を一つ先月号14頁のすこやかな写真説明が岩崎光祐ちゃんとなつていましたが、藤川裕樹ちゃんのみやまりでした。訂正しておわびいたします。

さて、私、広報を担当して二年が過ぎ、三年目に入りました。皆さんから親しまれ、読まれる広報づくりのため頑張りたいと思っております。

皆さんの回りで起きた話題、ニュース、催し物など、広報係へ一報くださるようお願いいたします。電話は☎1211内214です。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

- ありがとうございます。(敬称略)
- 河南ミキ(本町) 山下マツ子(新町) 馬見塚健一(中屋敷) 尻無浜初義(尻無下) 森山七重(大丸)
- 北園強(古里) 田上正(小渡)
- 牛之浜ミツヨ(牛之浜) 橋口静枝(波留) 遠矢貞蔵(遠見ヶ岡) 奥平光吉(浜)

心配ごと相談は5の日

心配ごと相談日は毎月五日、十五日、二十五日です。気軽にご利用ください。

休日の場合は翌日になります。社会福祉協議会

○広報送付お礼

広島市にお住いの、龍岡フサノさんから広報送付お礼にと金一封のご寄付をいただきました。ありがとうございます。



9月23日
秋分の日